

広報

だんち

2024
3月号

NO.506

(協)焼津水産加工
センター発行

焼津市惣右衛門1280番地の2

令和6年3月29日発行

編集・総務係

TEL・054-624-2111

FAX・054-623-3834

HP・<http://www.yaizufpc.or.jp>

3月団地の言葉

「寒い時期

始業前のストレッチでケガ予防

手洗いうがいので風邪予防」

この誌面が発行される頃には3月も終わりに近づき新年度に向けての準備や決算関係の業務に勤しんでいる方も多いかと思えます。加工センターとマリンセンターも3月末で決算を迎えるので事前の準備で慌ただしくなっております。

さて、4月から再び食料品などの値上げや減量(実質的値上げ)が行われるようですが、我々の生活に結び付きの強い業界が直面している問題がクローズアップされています。それは「物流の2024年問題」です。報道を目にして重々承知かとは思いますが、来月からトラックドライバーの労働時間に上限が設けられ厳格化されます。運送業界も人手不足で慢性的な過重労働、長時間労働に起因する疲労や集中力の低下に伴う事故率の上昇を抑制する為の取り組みだと言われています。県内では既に浜松サービスイリア隣接地に「コネクトエリア浜松」と言う中継拠点が整備さ

れましたが、長距離運輸を複数のドライバーで中継する事で各ドライバーが日帰りで勤務できる様になるそうです。ドライバーにとつては労働時間短縮・労働負担軽減など労働環境の改善が期待され働き方改革に繋がるので良い取り組みだと思えますが、その一方で時間外労働の減少で収入が減ると言ったデメリットを口にするドライバーも少なくありません。更に収入減を理由に離職者が増えるのでは・・・と言う懸念もあります。運送会社としてはその穴を埋める為にドライバーを確保する必要があります。確保出来なければ受注を減らす、つまり会社の売上げを減らす事を余儀なくされ物流の混乱が予想されます。最近では安全装備の装着が義務化され、トラック自体の価格が上昇し、なかなか利益を出し難い状況にある中での制度改正ですから反発する声があるのも仕方の無い事だと思えます。デメリットがあるのは運送業界だけに留まらず自動車メーカーにも大いに影響があると言われています。ドライバーの減少、つまりユーザーの減少によるトラックの販売台数の減少や、保険会社でも上述した通り長時間労働に起因する疲労などの「事故リスクの減少」に伴い保険料の値下げを検討する状況になるとも言われています。

ます。私たちにとつても物流業界の変化に伴い通販で購入した商品が今まで通り翌日に配達される事がなくなるなど不便に感じる事もあるかもしれません。更には運賃の値上がりも予想され、日常生活や事業活動に様々な影響を及ぼす事になるのは明白です。ここ数年で私たちを取り巻く環境が劇的に変化し、これまで当たり前に享受できたサービスが同じ水準では受けられなくなってきました。とは言え、その不便もいずれば「当たり前」になり、それを計算に入れて仕事の段取りを組む必要が生じるなど、私たちの側にも変化が求められると思われれます。

今月のだんちの言葉は仲吉さんの作品です。

今月の紙面

p2 3月の定例役員会/災害時初動訓練に実習生が参加/53期生初級試験を実施

p3 第55期生入国/実習生アパート衛生チェックを実施/実習生受入れ協議会開催

p4 カツオ情報/百味窓

4月の組合行事予定

4月8日(月)

定例役員会

4月の暦

4月29日(月)

昭和の日

◆3月の定例役員会◆

去る3月11日に、3月度定例役員会が開催されました。

1 令和6年度予算案の上程

事務局の各部門長により作成した部門別損益を取りまとめた令和6年度予算案が上程された。これについては、1か月間の検討機関を設けて役員各位にて検討し、次回4月会議にて審議し決定したいと説明され、原案通り継続審議とされた。

2 実習生受入部門の取引先（送出機関）社長の表敬訪問について

ミヤンマーの送出機関である株式会社かけはしミヤンマー タンシンナイン社長がこのほど来日し、役員会当日に当団地へ表敬訪問された。午前に入入企業との意見交換会を行い、午後には役員会にて組合役員に挨拶されました。なお、3月23日には、第55期生（ミヤンマー）8名が来日している。

3 化成プラント更新工事について

機器入れ替えを行う化成プラント工事は、2月18日に予定通り工事完了したが、試運転時に不具合が生じ、更に4日ほど修復作業が行われ、2月26日より運転を再開している。

4 その他報告連絡事項

「人事採用関連」 「排水本管工事完了報告」 「脱退組合員への出資金返還」ほか2件について了承された。

◆災害時初動訓練に

実習生が参加◆

3月3日（日）午前9時から「焼津市災害時初動訓練」が行われました。想定は例年通り①震度6強以上の揺れを観測、②地震直後に大津波警報が発令され1mの津波が発生、③電気・水道等ライフラインの寸断の3つでした。団地近隣では9時のサイレン鳴動後に惣右衛門ちびっこ広場に避難し町内会毎に安否確認をして解散と言う流れで行われ、ビレッジハウスに居住する実習生達も積極的に訓練に参加してくれました。この数年間は一カ所が大勢の市民が集まる（密になる）訓練を避け各家庭で「非常持出品」や「避難場所・ルート」「家族間の連絡手段」の確認のみに留まり、避難場所に大勢が集まる訓練は久しぶりでした。また公民館など公共施設を避難所に設定し避難所受付開設訓練や救護訓練、初期消火訓練等を実施した自治会もあるそうです。以前も書きましたが訓練で出来ない事は本番でも出来ません。訓練だからと軽視せず、有事に対する備えの一つと認識し今後も積極的な参加を心掛けて下さい。

◆53期生初級試験を実施◆

ミヤンマー出身の53期生14名は3月6日焼津市和田公民館で技能評価試験初級試験を受験しました。

2023年7月11日入国した53期生は（株）柳屋本店3名（節類製造）と（株）富士冷3名（調味加工品）、（株）マルテ小林商店2

名、（株）マルヨシ5名の構成で、入社8カ月ぐらいのタイミングでこの試験を受けました。

この期生の14名は来日の時点ですでにしつかり日本語の基礎を作っており、明るいと真面目な印象を与えてくれました。8カ月ぐらいの実習活動を通して、水産食品製造の基礎も覚えており、今回の初級試験によくできた褒められました。

試験の結果に全員は自信を持っており、この14名の今後の実習活動に受入れ企業より更なる大きな期待を寄せており、監理団体としても全力でこれからの実習活動を応援しようと思えます。

◆第55期生入国◆

3月23日、ミヤンマー出身の実習生8名は予定通り入国しました。

8名の受け入れ先は（株）富士冷が4名、（株）柳屋本店3名、（株）カネマサ1名です。8名の一か月集合講習開校式は3月25日に行いました。

開校式に、管理団体の増田理事長及び受け入れ企業代表、監理団体の事務局より3年間ないし5年間でも頑張るように期待の言葉を送りました。



4月23日までの一か月間に、今までの集合講習と同じ、法的保護、消防署の防災防火訓練、焼津警察署の交通指導、安全教育、日本語、日本の生活案内などを勉強して4月24日から雇用開始する予定です。

8名の実習生のうち、2名はすでに日本語能力検定N4に合格しました。みんなはそれぞれ自分の夢を持ち、受入れ企業に入り長く日本で頑張りたい、監視団体及び受入れ企業は8名の成長を楽しみにしております。



◆実習生アパート 衛生チェックを実施◆

今月の15日、実習生が入居したアパート48部屋の衛生状況を監視団体の職員がチェックしました。清潔を保ち、真面目に掃除した部屋は多いですが、掃除の常識をはずれた部屋も数件ありました。食品製造に従事している皆さんは自分の生活環境が自身の健康に関わりがあり、アパートの菌、虫などを不意に会社へ持ち込み、食品に入ると、消費者に甚大な迷惑をかけ、挽回できない被害を被り、会社のイメージをも損壊させることもあります。

入居しているアパートを掃除せず、汚いままにする実習生に、今後の技能実習3号、特定技能1号へ移行する評価内容にもなることを監視団体と実習先の意見が統一されたことを実習生全員に通知しました。

実習生が入居後の一か月集合講習中に、監視団体の職員は掃除の方法を教え、指導もしましたが、生活環境に慣れたことにより、緊張感がなくなり、掃除しなくなった部屋ができました。対象者には監視団体より個別指導する予定です。衛生チェックの結果表を実習先及びアパート全部屋に配布しました。監視団体は月一回の衛生チェックを実施し、毎年の新年会にて綺麗な部屋を奨励することを今後実施する。

◆実習生受入れ協議会開催◆



去る3月11日、ミャンマーの送出し機関の責任者が来所に際し、技能実習生受入れ企業の協議会を開きました。

コロナ禍過ぎて以来、ミャンマーからの技能実習生はスムーズに来日ができるようになり、すでに数十名の技能実習生が十名の技能実習生がきて、当団地で活躍している。情報及び意見交換のため、今回の協議会を開きました。

冒頭に送出し機関の責任者よりミャンマーの現状を説明してもらいました。日本サイド

では現地の情報は限られているので、生の情報を聞くことができ、技能実習生受入れ企業責任者は不安を払い、気になっていることが分かるようになりました。現地に募集面接希望する企業に対して、送り出し機関の責任者は普通にはリスクはないですが、軍政権では突然に空港を閉鎖する可能性がゼロではないので、それだけ心配だと答えました。

実習生の一時帰国或いは第三国へ行き、厚生年金脱退一時金請求に対し、監視団体として協力しますが、受入れ企業も理解してほしいと依頼しました。

外国人を採用する場合、合法的な身分確認方法を説明して、不法滞在者の求職に気を付けるように注意を喚起しました。

協議会を開催する前、当団地で活躍している実習生は送出し機関の責任者と面談会をやり、実習状況を報告しました。



2024年（1月計）の輸出入

※輸出はFOB価格、輸入はCIF価格
 ※財務省貿易統計データを加工して作成



カツオ

<輸出>	2024年		2023年	
	数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
フィリピン	172	48,897	25	7,993
タイ	75	14,723	375	85,001
計	247	63,620	400	92,994

<輸入>	2024年		2023年	
	数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
インドネシア	4,223	978,964	3,729	813,775
タイ	50	7,037	1	240
モルディブ	14	3,226	25	6,367
計	4,292	989,921	3,811	832,511

FOB (Free on board)

買手の指定した本船に商品を積み込むまでの費用を売り手が負担する条件

CIF (cost, insurance and freight)

買主指定の輸入港までの運賃と保険料を付け加えた条件

※水産庁統計データ冷蔵水産物流通統計月末在庫を加工して作成

冷凍かつお月末在庫量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2023年(単位:t)	17,090	15,683	18,729	14,416	15,725	16,770	18,078	18,713	18,092	20,812	19,181	16,065	209,354

§ 国内主要漁港市場の水揚（2024年1月計）

※水産庁統計データ産地水産物流通統計を加工して作成

情報

<生カツオ>	2024年		2023年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<生カツオ>	187	751 円	111	662 円	168%	113%
<冷カツオ>	13,632	295 円	13,587	306 円	100%	96%
<カツオ合計>	13,819	301 円	13,698	309 円	101%	97%

§ 焼津水揚（2024年1月～2月累計）

※焼津漁業協同組合統計データ取扱高対比表を加工して作成

<1本釣カツオ>	2024年		2023年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<1本釣カツオ>	2,495	375 円	3,556	426 円	70%	88%
<巻網カツオ>	9,871	252 円	8,375	267 円	118%	94%
<カツオ合計>	12,366	277 円	11,931	314 円	104%	88%

百味窓

人間評価

人間の評価基準は多種多様です。このような一説がある。

深沈厚重なるはこれが第一等の資質。磊落豪雄なるはこれが第二の資質。聡明才弁なるはこれが第三の資質。

どっしり落ちていて深みのある人物は第一等の人物というべき。小さいことに拘らず、さっぱりして、かつ強い人は第二等の人物という。頭脳明晰で弁舌で爽やかな人物が第一等の人物であることは一般に思われますが、これは第三等の人物といわずならない。

実行力に裏打ちされ、胆識が養われ、何物にも動じしない心、深沈厚重の人格を錬磨することが人間の本の修業であり、「処驚而不乱」ができる。——明の呂新吾「呻吟語」